

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課（電話番号）	西区市民部地域振興課（641-6926）
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市はちけん地区センター	所在地	西区八軒6条西2丁目
開設時期	2006年4月1日	延床面積	1327.01㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール・集会室（3室）・図書室		
2 指定管理者			
名称	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団		
指定期間	令和5年（2023年）4月1日～令和10年（2028年）3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながるものとなる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位			
	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和7年度管理業務等の検証

項 目	実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1) 統括管理 業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 「はちけん地区センター」の指定管理を最初に受けた平成18年度、その管理運営に向けて当時のスタッフで時間をかけた話し合いを行い、以下の7つの基本方針を掲げた。この方針は、スタッフ全員に受け継がれており、令和7年度もこの方針に基づいた運営を実施して来た。 ①子どもの成長を支え合う為に②高齢者の力を地域に発揮する為に③団塊の世代の力を地域づくりに活かす為に④障がい・世代を超え開かれた場になるように⑤地域の課題に応えるように⑥地域の担い手の要請・ネットワークづくりになるように⑦地域住民の学習を支え、共に学ぶ場に ▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 ▼貸室業務 ①「使用承認取扱要領」の遵守による運用を徹底 ②貸室のルールについて利用者に向けて繰り返し説明 ③予約重複の場合、利用者による直接抽選を推奨 ④利用希望重複の場合、時間をずらす事で双方の希望が適えられないか等、スタッフが間に入って調整。 ▼区民講座・交流事業 受講や参加申込に不公平が生じないように、講座内容等を知らせる媒体の発行時期と申込受付日の関係を常に念頭に置いて企画。告知の方法もHPや館内ポスター・地区センターニュース・札幌市のイベント冊子・ふりっばーなど、多くの媒体を使って情報に触れる機会に格差が生じない広報活動を実施。 ▼アトリウムのフリースペース 目的の違う人たちが共存できるよう、自習コーナー・バス待合スペース・飲食可の休憩スペースを提供している。階段下の自習コーナーは定員10人。テストや受験に向けてたくさんの学生たちが集まる他、社会人の利用も多数。 ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 ▼料金高騰が続く電気・ガスについては常に節約に努め、利用者の用途に応じて室温設定を訊ねながら、こまめなON・OFFを心がけた。また、施設内の不要な照明の消灯に努め、トイレの便座や温水の設定温度を季節によって変えるなど、できる限りの節電を心がけた。 ▼裏紙の活用やレコ-機能の活用で紙の使用料削減に努力。図書業務日報は全ページ裏紙を利用し、掲示済みのポスターは集会室の室名札として再利用。コピー用紙・カラーペーパーは森林認証制度のFSCマーク・PEFCマークのものを使用。洗剤やアルコール等は、ボトル買いせず詰替え用を購入している。 ▼新聞・ダンボール・雑誌・雑紙・シュレッダー等の資源回収に努め、「事業系廃棄物減量計画書・処理実績報告書」を札幌市に提出。	▼「はちけん」の管理運営に関わる基本方針は、この7点に集約されている。スタッフの入れ替えの際にも確認、この原則に従って講座や事業を立案している。開館から20年が経過し③団塊の世代と②高齢者は同意語になりつつある為、近年は高齢者に係る事業に力を入れている。 ▼貸室業務については「使用承認取扱要領」を遵守する事で公平性は確保。管理者としては、その上で丁寧で親切な説明が不可欠との認識で対応している。 ▼講座の種類や受講対象者によって、窓口や電話での受付を選択。反省点は次の改善点につなげる。 ▼会話、飲食、席取り等の問題行為がないか、スタッフが適宜巡回して指導、希望者が気持ち良く使えるよう気を配っている。 ▼ガス使用量は前年度比8.6%増、電気使用量は同3.3%増。 ▼前年度再利用率74%から、70.84%に低下。	A B C D 要求水準が満たされており、適切に管理運営されている。

▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成）

▼令和7年度の組織・人員配置

職種	配置部署	職務	形態	数
館長	事務室	事務・統括	常勤	1
副館長	事務室	事務・経理	常勤	1
事務	事務室	事務・夜勤	非常勤	6
司書	図書室	図書	常勤	1
図書	図書室	図書	非常勤	4
清掃		清掃	非常勤	4

（令和8年3月末時点）

▼人財育成・各種研修への参加、内部研修

- ①5月 ワークス図書会（第19回）
- ②5月 使用承認書をドサンコシステムで作成する際の注意点について（事務スタッフ）
- ③5月 「海洋プラスチック問題」ー海洋プラスチックと賢く付き合おう。
- ④6月 熱中症対策「STOP熱中症」（Web研修ー全員参加）
- ⑤7月 中央図書館 職員スキルアップ研修（図書スタッフ2名）
- ⑥9月 市防火管理者協会救命救急講習「高齢者コース」（夜勤スタッフ1名参加）
- ⑦11月 7年度市公式HP担当者レベルアップ研修-3名参加
- ⑧Canva研修
- ⑨1月 感染症対策で冬を乗り切ろう（産業医より）
- ⑩2月 ウェブアクセシビリティとは（全員）
- ⑪2月 個人情報保護法ヒヤリハット事例
- ⑫2月 チラシ等における「QRコード」の商標取扱いに関する注意点

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼様々な利用者対応に、職員間の認識のズレが起こらないようにするには、何よりも業務日報の活用が有効だ。シフト制で運営されている現場にとっては、日報を基にした情報共有・問題点への共通した対応が必要になる。同様に、夜勤スタッフへの引継ぎの役目も果たす「夕礼」・月に1度の職員会議など様々な機会に職員間のコンセンサスを図っている。

▼令和元年より、迷子やケガなど困りごとを抱えた高齢の来館者への対応に特化した「ノート」を作り、職員間で情報共有し、家族や施設・民生委員・第一包括など必要なところにつなぐことができている。R7年度はノートに記述する具体的な事例はなかったが、窓口に困りごとの相談にくる高齢者の話を聞いて、第一包括を紹介することが多い。

▼「西区コミュニティ施設館長会議」は西区内4館と地域振興課により毎月1回行われている。ワークス6館による「コミセン会議」も月1で行われている。どちらの会議も情報交換や報告・相談など、施設運営の上で大切な役割を負っている。

▼協定書に添って、事務室の昼・夜とも常時2名体制を維持。図書も常時2名で対応。

▼清掃は4名のスタッフが日常清掃を交代で担当、WAXなどの定期清掃は全員で仕様書に基づいて実施している。

▼年度当初、札幌市に提出した「スタッフ年間研修計画」に基づいて具体的に研修を選び、Web・会場・職員会議内など、いろいろな形態の研修に参加。

▼月1回の職員会議で、研修参加者から内容の説明、資料ファイルを作成し研修内容をスタッフ間で共有できるように心がけている。

▼業務日報には、「AED使用可」のチェック欄に加え、駐車場利用台数の記入欄を設け、日に3回スタッフが状況確認の上台数を記入。

▼第一包括から電話番号の入ったメモ帳を大量にもらったので、困りごとの相談で窓口に来た高齢者にはメモ帳を差し上げている。わかりやすい...と好評。

▼2つの会議への定期参加で、区内は勿論、他区施設の動向を知る事ができ参考となっている。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認）

【令和7年度の第三者委託

- ①機械警備（12月に事業者変更）
- ②自家用電気工作物保守点検
- ③エレベーター保守管理
- ④自動ドア保守管理
- ⑤ボイラー設備保守管理
- ⑥消防設備保守管理
- ⑦舞台装置吊り物保守管理
- ⑧建築基準法定期点検
- ⑨高所窓ガラス清掃・図書室カーペット・屋上ドレイン清掃
- ⑩除排雪

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整（運営協議会等の開催）

開催回	協議・報告内容
第1回 (令和7年 7/17)	令和6年度活動報告・令和7年度第1四半期活動報告・令和7年度第2四半期活動予定・その他＝7年度運営協議会の開催日程・設備等の不具合について (会場：はちけん地区センター会議室)
第2回 (令和7年 10/23)	第2四半期活動報告・第3四半期活動予定・その他＝令和6年度指定管理者評価報告 (会場：西区館長会議の場)
第3回 (令和8年 1/22)	第3四半期活動報告・第4四半期の活動予定説明・その他＝7年度の施設修理・メンテナンス実績報告 (会場：西区館長会議の場)
第4回 (令和8年 3/19)	第4四半期の活動報告・令和7年度利用者アンケートのまとめ報告・令和8年度の活動予定説明・その他＝館長の後継者候補について協力依頼 (会場：はちけん地区センター会議室)
＜協議会委員＞ 西區市民部地域振興課長 八軒連合町内会会長 八軒中央連合町内会会長 植栽サークルの代表 読み聞かせの会メンバー 八軒中央地区福祉のまち推進センター事務局 八軒地区民生主任児童委員・青少年育成委員 センター館長・センター副館長	

▼外注先の選定は市内業者数社から相見積を取り決定。札幌市に第三者委託の申請を行い、承認を受けている。

▼仕様書に定められた作業内容・回数を遵守し、報告書類も適切に管理。

▼9月に機械警備の事業者より11月いっぱい撤退と告げられたが、空白なく12月からの新規事業者が見つかり安堵した。

▼地域や利用者の施設に対する要望を探り、お互いに協力できる関係を築き上げるための場とすると同時に、施設の活動のPRや相談の場としても活用している。

▼第2・3回の資料は各委員に後日配布。

▼1名交代、計9名。

▽ 財務（資金管理、現金の適正管理）

- ・指定管理業務に関する収支については独立した帳簿・預金口座を作り管理。
- ・現金・有価証券・領収書等の管理は、定められた規定に則って管理を行なっている。
- ・利用料金・講座受講料等の収入は翌日に専用の銀行口座に入金、またこれら収入は月毎の全額を翌月始めに所属組織の本部口座に送金しており、事務所内には必要最低限の現金だけを置く体制で運営している。
- ・現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備して各帳簿の表紙の裏に貼り、常に確認できるようにしている。

▽ 要望・苦情対応

- ・利用者アンケートで出された要望について可能なものは即対応している。
- ・札幌市や西区に届いた苦情があった場合、原因の究明と今後の対応・返答に至るまで、正確に誠実に迅速に向き合う姿勢で対処してきた。
- ・利用者の要望を日常的に聞くため、「利用者の声」回収箱を設置している。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価（記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施）

- ・日常業務では事務室・図書室とも日報を記載、夜勤者との引継ぎは日報を基に情報を共有、問題点への対応を考える場を持っている。
- ・事務（夜勤を含む）、図書、清掃が職種ごとに月1回の話し合いを行い、これとは別に全スタッフによる会議を月1回持つ事で、シフト勤務職場にありがちな情報格差の解消に努めている。
- ・実施する講座はすべて参加者アンケートを実施。理解度・満足度を測る他に、次に役立つ要望や意見を収集している。
- ・西区による実地検査に対応。
- ・12月にR7年度の利用者アンケートを実施（配布860部・回収565部）
- ・札幌市への事業報告は、毎月の月報と、年に1度の年報で行っている。その他に、札幌市からの問い合わせには適宜対応している。

▼経理・財務担当者は毎月開かれる所属組織の経理担当者会議に参加、相互に伝票等のチェックを行い、処理方法を統一している。

▼利用料入金分金種表一覧は、日に2回作成し、それぞれダブルチェックを行っている。

▼利用者アンケートの結果は後述。

▼「利用者の声」回収箱—7年度は緊急な対応を要するものは特に無かった。

▼西区による実地検査は3/5。事前に求められた各種書類を準備して対応。

▼アンケート結果は、冊子にしてアトリウムに1か月間設置。来館者が手に取って読んでもらえるような工夫をした。

(2) 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上	▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上		A B C D
	▼労働関係法については遵守し、必要な届けを札幌中央労働基準監督署に提出。 ▼賃金改定 札幌市による賃金スライド制度を利用して①令和7年4/1からの常勤者の賃金改定を行った②10/1最低賃金改定に伴い、非常勤スタッフの基本時給を1,075円に改定。その他「3年以上勤務で+15円の経験手当」・「司書資格者には更に+10円の司書資格手当」を支給。 ▼全職員の有給休暇取得状況を可視化し、取得の進む環境にしている。年10日以上有給付与されている職員については、年5日以上取得義務を遵守。また、常勤者は7～10月にリフレッシュ休暇3日間を取得することができる。 ▼7年度中、施設で働くスタッフの休日労働は無し。時間外労働＝事務スタッフ2名と図書司書1名の計3名で合計12時間15分。深夜労働＝副館長に15分発生した。 ▼施設で働くスタッフは、1週40時間、1日8時間を順守した。 ▼全てのスタッフを労災保険に、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。 ▼スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて厚生年金保険、健康保険に適切に加入させた。また、変更があった場合は必要に応じて適切に届出を行なった。 ▼新しいスタッフの雇入れ時には健康診断を実施している。(7年度については、増員、交代で新たに2名を採用。) ▼スタッフ全員に年に1度健康診断を受けてもらうよう働きかけている。更に結果を把握。再検査や生活習慣病などの診断があった場合は、産業医から適切な指示等を受けている。 ▼労働基準監督署からの行政指導は受けなかった。 ▼指定管理者の申込時に提出したワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ▼所属組織である労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団が定めた規定に則り、就業規則を作成している。育児介護休業規定・パワハラ防止・セクハラ防止・個人情報保護規定等、適宜更新された内容で運用されている。	▼「36協定届」令和7年4月1日から1年間分提出 ▼賃金改定の都度、就業規則の変更届を提出。 ▼有給休暇取得数・残数は、一人ひとりの有給一覧表を作成し、給与明細にも明記、取りやすい環境を整えている。 ▼社会保険加入者の協会けんぽ健康診断の費用は事業所が負担。 ▼パートスタッフの特定検診には1,500円を上限に補助。 ▼インフルエンザと新型コロナのワクチン接種者には、上限1,500円の補助を行っている。	労働関係法令が遵守されており、また、雇用環境の維持向上にも努めている。

(3) 施設・設備等の維持管理業務	▽ 総括的事項（利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入）		A B C D
	▼施設、敷地内は事務・清掃スタッフが日常的に目を配り、利用者の安全を脅かす状況がないかをチェック。 ▼スタッフの連絡網については、人の入れ替わりや、転居、携帯の変更等があった場合には速やかに更新している。（令和7年度=図書スタッフが1名増。清掃スタッフ＝1名交代） ▼外注業者の他、水漏れ対応、鍵対応などの緊急連絡先をリストアップして事務室内に用意。シフト勤務で緊急事態に当たったスタッフが誰でも対応をとれるようにしている。 ▼加入保険 ①ワーカーズコープ 本体が「賠償責任保険」（人的補償・一人につき1億円、一事故につき4億円をカバー）に加入している。R5年度から指定管理者及び札幌市を被保険者にした交差責任担保特約の上乗せを追加、現金の取扱いに関わるいわゆる「マネー保険」も継続。 ②更に施設が主催する事業の参加者の事故に対応する「レクリエーション保険」に加入。 ③施設の活動に参加してくれるボランティアの方については社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」に加入。 ▽ 施設・設備等の維持管理（清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等） ▼機械警備・電気設備・自動扉・エレベーター・消防設備・舞台吊り物・ボイラーの保守点検および、高所窓ガラス清掃、図書室カーペット清掃、屋上ドレイン清掃、除排雪、建築物定期点検は第三者委託。 ▼開館以来の機械警備担当業者から、突然「11月末で業務から撤退する」旨の連絡があり、新たな業者探しを強いられたが、限られた時間の中で後継業者が見つかり、業務が途切れる事態は避けられた。 ▼他施設の場合、清掃業務を外注するケースが多いが、当館は4名のスタッフが日常清掃を交代で行っている。WAXなどの定期清掃は、全員で仕様書に基づき実施している。 ▼施設の設備・備品管理、駐車場管理はスタッフ全員が関わって実施。 ▼敷地内の植栽管理は基本的にスタッフが担当。高い樹木の剪定は2～3年に1度専門の業者に依頼する。花壇整備についてはスタッフと地域の愛好家が立ち上げたグリーンボランティアサークル「花コパン」が協力して花壇作りを行っている。 ▼1階・階段下の「自習コーナー」側の窓（外側）への植栽による「緑のカーテン」（日除け効果）を引き続き実施。例年、札幌市建設局みどりの推進部みどりの管理課に申請して送ってもらった種をプランターに蒔くところから行っている。 ▽ 防災 ▼7年度に参加・実施した防災関係活動 ・ 7/17 スタッフによる消防訓練 （4名参加） ・ 1/29 スタッフによる消防訓練 （4名参加） ・ 施設の自主点検（建物の傷み具合や避難経路点検）は毎月中旬に実施 ・ 札幌市防災協会主催 「救命救急講習」への参加 9/26 「高齢者コース」に1名参加	▼開館後20年を経過し以前依頼した業者の中には廃業の例もある。その場合は、新築時のゼネコン中井聖建設に相談しながら対応している。 ▼7年度、賠償責任保険を使う事例は無し。 ▼「ボランティア活動保険」には、おはなし会の読みきかせサークル・花壇整備のサークルや、清掃ボランティア・地域ボランティアの方々、19名を登録。 ▼各業務とも、仕様書に基づき必要な回数を実施、報告書も適切に管理している。 ▼5/17、「花コパン」メンバーとのコラボ企画で、地域住民対象の交流事業「地域のみんなで花壇整備」を実施。他に、刈り取ったラベンダーを来館者にプレゼントする企画も継続。地域住民に喜ばれる花壇作りが続いている。 ▼令和7年度はつるありインゲン、ゴーヤ、朝顔の種を提供してもらいプラン ▼消防訓練は、業者による消防設備点検に合わせて年2回行い、札幌市西消防署に報告書を提出 ▼札幌市防災協会主催の救命講習は、毎年交代で参加している。	要求水準が満たされており、適切な施設・設備等の維持管理業務が行われている。地域ボランティアサークルとの連携も行われている。

(4) 事業の計画・実施業務

▽区民講座に関する学習機会の提供

	7年度年度計画	7年度実績
講座数	7	13
回数	16	20
受講生数	260	154

講 座 名			
定員	受講者数	成果指標	達成率
①みんなで一緒にピラティスをしましょう			
20	20	受講生の満足度	125%
②自己ベストをめざそう かけっこ教室			
20	20	受講生の満足度	125%
③おもしろ電波教室			
15	14	受講生の満足度	125%
④夏休みレジン教室			
20	20	受講生の満足度	125%
⑤包丁研ぎ講座			
10	10	受講生の満足度	125%
⑥みんなで一緒にピラティスをしましょう			
10	7	受講生の満足度	117%
⑦親子食育料理教室 提案します！朝ごはんレシピ			
8	8	受講生の満足度	125%
⑧多肉植物の寄せ植え講座			
10	8	受講生の満足度	94%
⑨ホームベーカリーで作るお手軽肉まん			
8	8	受講生の参加者数	125%
⑩もちもちおやき信州風			
8	8	受講生の満足度	125%
⑪ぬいぐるみ おとまり会			
6	6	受講生の満足度	125%
⑫冬休み子ども将棋教室			
12	5	受講生の満足度	117%
⑬冬休みレジン教室			
20	20	受講生の満足度	125%

▼「区民講座」は前年度を踏襲する形で、人気の企画を中心に構成。

▼講座の内容を見ると、運動系が前年より少なくなった一方で、子ども対象が7講座と半数を超えている。

▼「おもしろ電波教室」は電波適正利用推進員の協力を得て行う無料講座。

▼「包丁研ぎ」リサイクルプラザ宮の沢」との共同企画。

▼「親子食育料理教室」は 西区食生活改善推進協議会との共同企画。

▼「多肉植物」では、前年度に続いて参加する人が複数。熱心な受講生の技量アップの場となっている。

▼「肉まん」「もちもちおやき」はスタッフが講師と助手を務める人気のオリジナル講座。

▼「レジン教室」は、夏休みに参加できなかった希望者に向けて、冬休みにも企画した。

A B C D
区民講座について、当初計画よりも多い回数を実施しており、どの講座も高い満足度を得ている。多種多様な施設活用事業も行っており、評価できる。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

	7年度計画	7年度実績
事業数	9	10
回数	20	21

事業名			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
みんなのひろば「鯉のぼりを飾ろう」 4/21-5/6			
200	209	参加目標の80%	130.6
みんなのひろば「ありがとうの桜」 4/20-5/13			
200	164	参加目標の80%	102.5
みんなのひろば「七夕に短冊」 7/20-8/10			
200	294	参加目標の80%	183.7
みんなのひろば「クリスマス飾り」 12/1-12/26			
250	262	参加目標の80%	131.0

事業名			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
「サロン・ド・ハッチ・うたの会」 毎月第二金曜			
600	634	来場目標の80%	120.0

事業名 「地域 みんなで花壇整備」 5/17			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
10	12	参加者数	120.0

事業名 「はちけん春のはあとフェスタ」 4/29			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
400	400	来場目標の80%	125.0%

事業名 「はちけん健康フェスタ」 11/3			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
200	250	来場目標の80%	156.3

※「静和記念病院」と「介護予防センター八軒」の協力を得て、健康測定・健康相談を開催している。

事業名 「SE-NOコンサート」 10/13			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
120	172	来場目標の80%	179.2

事業名 プロ野球応援企画「DD佐藤トークイベント」 3/22			
参加見込み数	参加数	成果指標(80%)	達成率
50	37	来場目標の80%	92.5

▼交流事業は、ほぼ年度計画に基づいた実施状況となっている。

▼「みんなのひろば」はアトリウムを使った来館者参加型の企画。季節に応じて施設側が工夫を凝らした掲示ボードを用意し、参加者が自分達の願い事などを紙に書いて貼り付け作品が完成する。子どもだけでなく、大人も大勢参加。アトリウムが華やかに賑わい、見る楽しみもある参加型の交流事業だ。

▼毎回50名以上が参加する人気企画。冒頭に八軒交番の警察官が参加者向けに特殊詐欺への注意を呼びかける場としても利用されている。

▼サークル「花コパン」が種から育てた苗を地域住民を募り敷地内の花壇に移植。

▼前年度から復活。フリーマーケットをメインに、多くの地域住民で賑わった。

▼各種健康測定や、専門家による健康相談の他に、ワークショップやパフォーマンスで盛り上がった。健康測定では骨密度測定にたくさんの高齢者が並んだ。

▼「SE-NOコンサート」「プロ野球応援企画」は、当館が新たに打ち出した有料イベント。冒険的な面もあったが、いずれも多くの人が集まり好評を得ており、今後の企画の参考になる事例になった。

事業名「はちけん・ティッシュ協力隊!!」通年開催
箱ティッシュ97箱＋ポケットティッシュ多数
マスク25箱＋子ども用柄物マスク多数
ウェットティッシュ・生理用品など
※令和7年4/17・6/7・令和8年3/31に引き渡し。 当館からの支援品はイナクルで小分けし、お弁当と共に届けられている。

▽ 施設活用事業（無料）に関する業務

	7年度計画	7年度実績
種目数	7	12
実施枠数	88	88
総時間数	210 h＋α	211.5h＋α
参加者数		1564＋α

リフレッシュ運動教室（4～6月毎月曜 計12回）	
参加者総数	284名
総時間数	24

※「介護予防センター八軒」との共催。地域の高齢者向けの運動教室。開催8年目。

親子限定活用	
参加者総数	197名
総時間数	36

※第2日曜 9時～12時。親子限定で広いホールを提供。

親子・子ども活用	
参加者総数	169名
総時間数	42

※第2日曜 13時～16時半。親子や小・中学生の子ども達に自由に遊べる広い空間（ホール）を提供。

卓球活用	
参加者総数	263名
総時間数	69.5

※第3金曜13時～16時半ホール全面・第4月曜18時～20時半ホール半面で実施。

バドミントン活用	
参加者総数	60名
総時間数	27.5

※第4月曜18時～20時半ホール半面で実施。

おはなし会（毎月第三土曜開催・年12回）	
参加者総数	306名
総時間数	6

※「第3土曜・10時半～・A室+アトリウム」での開催スタイルが定着し、毎回20～30人の人が訪れてくれている。

▼NPO法人イナクルが行う長期入院の子どもと付添い家族を支える活動を支援する目的で令和5年度にスタート。アトリウムに回収箱を設置して来館者の協力を頂いている。

▼総時間数・参加者数については展示企画を含む為「+α」としてある。

▼前年度に続いて、春スタートの1クール開催。いつもの様に受付開始後直ぐに定員となる人気企画。参加者ほぼ全員の運動機能と骨密度のアップが確認されている。

▼ホールを使ったスポーツ系の施設活用事業は、7年度も前年同様に4種目で実施した。

▼「親子・子ども活用」は参加者に年齢差が生じる為、固いボールの使用を禁止する等の配慮をしながら実施している。

▼前年度に比べた参加者数の比較では「親子・子ども」が76.0%増と最大の伸び。「卓球」は34.2%増、「バドミントン」は30.4%増だった一方で「親子限定」は13.3%減となった。

▼おはなし会の総参加者数は前年の261名から+45名増。一回の平均参加者数で見ると前年の21.7人から25.5人へと増えている。

琴似中央小5年生防災新聞パネル展示	
参加者総数	出展者 6名 見学者 多数
開催期間	3/24～4/4

琴似中央小2年生「まちたんけん」	
参加者総数	63名
開催期間	6/6 1.5時間

八軒小2年生施設見学	
参加者総数	85名
開催期間	6/13 1.5時間

八軒北小2年「まちを知ろう」	
参加者総数	58名
開催期間	7/8 1.5時間

はちけん夢あかり ちょうちん作り	
参加者総数	79名
開催期間	7/19 2.5時間

札幌友の会パネル展示	
開催期間	10/19～10/23

※翌月に他施設で開催する「家計と暮らしの講習会」に向けた展示。

▽ 図書業務

・利用状況【貸出冊数・レファレンス件数】

	6年度	7年度	増減
貸出冊数	93,653	97,722	4,069
レファレンス件数	3,100	2,941	-159

- ①第19回ワークス図書会…ワークスが指定管理を担う5館の図書スタッフによる意見交換会（5/19）
- ②中央図書館職員スキルアップ研修「行ってみたいくなる 図書館の作り方ーつなげ方とまきこみカー」WEB研修（7/14）

▼子ども達に貸室の説明をする際、ホールや集会室を利用中の方々に事前の了解を得て、各サークルの活動を見学・体験する形で協力を得▼小学生による施設見学は、地域の公共施設の存在についてよく知って貰う為、質問時間等も多めに確保して説明に努めた。

▼「はちけん夢あかり」は八軒中央連町の大きな行事。その準備作業に協力する事で、地域との結び付きが強まっている。

▼貸出冊数は前年比+4.3%

▼①には16名が参加、図書室関係企画の事例紹介や、日常運営のトラブルや解決策の話し合い等有意義な内容。

(5) 施設利用に関する業務

▽ 利用件数と 利用料収入（計画と実績）

【令和7年4月～6月】

(収入：単位＝千円)		7 年度計画	7 年度実績
ホール 全面	利用件数	153	126
	収入	1,102	1,136
ホール 半面	件数(件)	300	223
	収入	676	669
集会室A	件数(件)	95	128
	収入	56	72
集会室B	件数(件)	94	85
	収入	59	61
集会室 AB	件数(件)	131	137
	収入	144	153
集会室C	件数(件)	272	258
	収入	162	185
小計	件数(件)	1,045	957
	収入	2,200	2,276

【令和7年 7 月～令和8年3月】

収入：単位＝千円)		7 年度計画	7 年度実績
ホール 全面	利用件数	401	439
	収入	2,974	4,834
ホール 半面	件数(件)	870	480
	収入	3,112	2,265
集会室A	件数(件)	310	328
	収入	221	216
集会室B	件数(件)	310	275
	収入	221	209
集会室 AB	件数(件)	369	398
	収入	499	551
集会室C	件数(件)	434	665
	収入	273	552
小計	件数(件)	2,694	2,585
	収入	7,300	8,627

年間合計	件数(件)	3,739	3,542
	収入	9,500	10,904

▽年間利用率比較

(単位：%)	R6年度	R7年度	差
ホール	95.0	91.7	-3.3
A	80.5	76.3	-4.2
B	75.4	75.2	-0.2
C	78.6	80.0	+1.4
全体	82.4	80.8	-1.6

▼年度途中で料金改定があった為、当初計画の策定は難しい作業となったが、ほぼ予想に近い結果に納まった。

▼料金改定により利用件数は減少した一方で、利用料収入は前年を上回る形で決着した。

▼料金改定前の3か月と改定後の9か月について、月当たりの利用件数を比較すると、「ホール半面」が22件、「C室」が12件と減少、「B室」「AB室」は横ばいとなった中で「ホール全面」は7件増を記録している。

▼貸室全体の利用件数は3,542件で計画より197件少ないが、利用料収入は計画を140万円ほど上回った。

▼7月からの利用料金改定を受けて、全体の利用率は前年度を下まわった中、集会室Cだけがわずかに前年比増となっている。簡易防音の為、楽器やダンスの練習に使う人が増えているのが要因と思われる。

A	B	C	D
---	---	---	---

区民講座について、当初計画よりも多い回数を実施しており、どの講座も高い満足度を得ている。多種多様な施設活用事業も行っており、評価できる。

▽ 不承認 0件、 取消し 0件、 減免 0件、 還付 0件

▽ 利用促進の取組

・集会室が3部屋と少ないため、利用希望が重なる場合が多い。他の部屋が空いている場合は、そちらへの振り替えを依頼する
他、キャンセルの申し出があった場合は「変更措置」を勧める等して利用件数を確保するように努めている。

・申し込みの際使用目的を聞いて各室の特長（A室：ランケーブル使用可・B室：調理可能・C室：簡易防音）を説明し、時には利用する部屋を他団体と調整しながら運営。

・「市内地区センターの中で部屋数が最少」という条件下ではあるが、「時間貸し」等の要望があれば空き時間を設ける事なく利用して貰っている。

・令和6年5月から始まったWi-Fi機器貸与制度。7年度の機器貸出件数は104件。貸出の大半が特定の利用者向けではあるが、既存の利用者の中に少しずつ新しい借り手が増えている。残念ながら新規ユーザーの掘り起こしとまでは至っていないのが現状だ。

▽時間貸し・昼食時間帯・夕食時間帯の利用状況

	時間貸し		昼食	夕食
	件数	時間数	件数	件数
R5年度	928	1508	272	194
R6年度	902	1620	153	237
R7年度	609	1,064	129	189

▽HPからの貸室利用申込状況

	5年度	6年度	7年度	前年比
申込件数	376	408	478	+70

▼C室希望の音楽サークルが重複した場合、予約状況や音量を考慮しながらA、B室の利用を促す等、極力断らない努力を重ねている。

▼部屋の入れ替えをスムーズに行なう為、事前に利用者への説明と協力依頼を丁寧に行い、スタッフが手際よく対応することで、利用者からの不満は出されていない。

▼「時間貸し」の件数、時間数とも前年度比で大幅な減少を記録したが、これは7月の料金改定が原因と考えられる。

▼対前年度の伸び数は過去最大。今後サークル参加者の若返りから、更に伸びると思われる。

(6) 付随業務

▽ 広報業務

▼「はちけん地区センターニュース」

①八軒の二つの連合町内会の協力を得て、地域の11,522世帯に回覧②センターニュースは毎号拡大版を作り館内にも掲示。

▼イベント冊子「札幌市からのお知らせー西区版」

西区地域振興課や広聴係の協力を得て講座・交流事業等を広報。

同じ内容を、地デジ・アプリを使って広報。

▼地域新聞「ふりっぱー」

年度途中よりWEB版が主流になり、西区・手稲区配布版に掲載する機会が激減した。

▼R7年度はNo.254からNo.265までの11回発行。

▼参加者に人気のあった紙の「ふりっぱー」掲載が減ったことで、講座の応募者数も減る傾向にあり、影響を深刻に受け止めている。

A B C D
ホームページ、地区センターニュースなど複数の媒体により適切な広報活動が行われている。

	▼道新コミュニティ紙への紹介記事掲載 例年、地元新聞店のミニコミ誌「minico」等にイベントや講座の取材を受けて掲載されている。 ▼地域のコミュニティFM 西区のコミュニティFM「三角山放送局」に出演。活動をPRする機会を得ている。 ▼HP、ウェブアクセシビリティの取り組み 毎年1回、ウェブアクセシビリティ方針に基づきJIS検査の実施と評価結果をHP上に公開している（令和7年度表明日2026年3月13日）。HP更新作業に携わるスタッフの作業能力も徐々に向上し、順調な運用が続いているが、これからも知識とスキルのアップデートを怠らず、点検を忘れずに続けて行きたい。 ・11月、市が実施したHP担当者レベルアップ研修にスタッフ3名が参加。 ・2月、Web研修「ウェブアクセスビリティとは？」に全員が参加。 ▽ 引継ぎ業務 ▼引継ぎ業務は無し。	▼「SE-NOコンサート」では、本番2週間程前に番組「西区最前線」の枠に、出演メンバーと副館長が出演してPRに努めた。 ▼取組ポイント数は30点満点中26点を獲得（R6年度と同じ点数）。								
2 自主事業その他										
▽ 自主事業 ▼R7年度、自主事業は行っていない。 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼市内企業の活用 外注の10業務中、9業務は市内企業に委託。機械警備は年度途中で業者の変更があったが、引き続き市内の業者を指定。 ▼福祉施策への配慮 ・当館独自の有償ボランティアとして8年目になるAさんには引き続き週1回の定期清掃業務・外回り整備等の他に、冬季に除雪作業、更には定期清掃のWAX掛け作業でも力を借っている。 ・フェスタ等の交流事業の際には、福祉作業所等の製品販売を行って販路拡大に協力している。作業所ごとに販売するものが違うので、イベントの参加者もパンや焼き菓子・手作り雑貨等の購入を楽しみに来ている。	▼吊り物点検は開設以来、この業務を専門とする恵庭の業者に発注。 ▼札幌市の就労支援事業でご縁のあったAさんは、今では重要な戦力として頑張っている。 ▼4/29春フェスには4つ、11月の健康フェスタには2つの福祉作業所等が参加。	<table><tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr><tr><td colspan="4">市内企業の活用に努めているとともに、福祉施策の取組みも行っている。</td></tr></table>	A	B	C	D	市内企業の活用に努めているとともに、福祉施策の取組みも行っている。			
A	B	C	D							
市内企業の活用に努めているとともに、福祉施策の取組みも行っている。										

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法

▼実施期間：12/1～12/28

▼配布数：860（窓口460・図書400）

▼回収数：565（窓口352・図書213）

結果概要

▼利用者の性別

	貸室	図書室	計	比率(%)
男性	79	77	156	27.6
女性	258	132	390	69.0
無回答	15	4	19	3.4
計	352	213	565	100.0

▼利用者の年代

	貸室	図書室	計	比率(%)
～20代	37	16	53	9.4
30代	19	17	36	6.4
40代	18	26	44	7.8
50代	48	36	84	14.9
60代	70	44	114	20.2
70代	106	57	163	28.8
80代～	52	14	66	11.7
無回答	2	3	5	0.9
計	352	213	565	100.0

▼利用者の居住地域

地域	貸室	図書室	計	比率(%)
八軒	180	155	335	59.3
西区内	67	23	90	15.9
他区	95	32	127	22.5
市外	3	3	6	1.1
無回答	7	0	7	1.2
計	352	213	565	100.0

▼利用頻度

	貸室	図書室	計	比率(%)
週に数回	109	29	138	24.4
月に数回	185	158	343	60.7
年に数回	36	17	53	9.4
初めて	17	7	24	4.3
無回答	5	2	7	1.2
計	352	213	565	100.0

▼回収率は65.7%で前年度の71.5%から5.8ポイント減。

▼利用者の性別比率女性が7割を占める傾向は相変わらず。この割合は図書室利用でも同様、昨年度は貸室利用で男性の比率が増えたが、今年度は再び7割強が女性となっている。

▼利用者の年代割合の大きな傾向は、50代～70代が6割以上を占めた相変わらずの形。ただ「自習コーナー」の利用は長時間使用の10代の若者が中心。この部分がアンケートには反映されていないが、館内に若者の姿が少なくなっているのが「はちけん」の特徴と思われる。

▼居住地域では「八軒」が前年から3ポイント減じた一方で「西区内」が3ポイント増、近隣施設の工事による閉館措置の影響と考えられる。

▼利用頻度の全体的傾向は例年通りだが、「初めて」の回答が前年より2ポイント増、これも近隣施設の休館で、活動場所を「はちけん」に変更した町内会やサークルがあった為と思われる。

A	B	C	D
各項目で利用者より、要求水準を超える高い評価を得ている。			

	▼スタッフの言葉づかい・態度 <table><tr><th></th><th>貸室</th><th>図書室</th><th>計</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>とても良い</td><td>181</td><td>182</td><td>363</td><td>64.2</td></tr><tr><td>良い</td><td>136</td><td>29</td><td>165</td><td>29.2</td></tr><tr><td>普通</td><td>30</td><td>2</td><td>32</td><td>5.7</td></tr><tr><td>悪い</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>とても悪い</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0.2</td></tr><tr><td>無回答</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>0.7</td></tr><tr><td>計</td><td>352</td><td>213</td><td>565</td><td>100.0</td></tr></table> ▼再度の利用希望 <table><tr><th></th><th>貸室</th><th>図書室</th><th>計</th><th>比率(%)</th></tr><tr><td>ぜひ利用したい</td><td>232</td><td>172</td><td>404</td><td>72.4</td></tr><tr><td>利用したい</td><td>97</td><td>38</td><td>135</td><td>23.9</td></tr><tr><td>どちらかと言えば、利用したい</td><td>15</td><td>3</td><td>18</td><td>3.2</td></tr><tr><td>どちらでもない</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td><td>0.7</td></tr><tr><td>利用したくない</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0.2</td></tr><tr><td>無回答</td><td>3</td><td>0</td><td>3</td><td>0.5</td></tr><tr><td>計</td><td>352</td><td>213</td><td>565</td><td>100.0</td></tr></table>		貸室	図書室	計	比率(%)	とても良い	181	182	363	64.2	良い	136	29	165	29.2	普通	30	2	32	5.7	悪い	0	0	0	0.0	とても悪い	1	0	1	0.2	無回答	4	0	4	0.7	計	352	213	565	100.0		貸室	図書室	計	比率(%)	ぜひ利用したい	232	172	404	72.4	利用したい	97	38	135	23.9	どちらかと言えば、利用したい	15	3	18	3.2	どちらでもない	4	0	4	0.7	利用したくない	1	0	1	0.2	無回答	3	0	3	0.5	計	352	213	565	100.0	▼「とても良い・良い」の評価の合計は93.4%、前年の95.0%からは若干下がったが、それでも非常に高率を維持できた。『再度の利用希望』に対する回答でも「ぜひ利用したい」「利用したい」の合計が96.3%で、前年の96.5%と同水準となった。 ▼利用者アンケートの結果については、運営協議会の資料として添付の他、冊子にして1か月間館内で閲覧できるようにして、報告を行った。 ▼アンケートでは「1階事務室向け」「2階図書室向け」の各々に自由記載欄を設け、定型の設問以外の意見・質問・要望を書いてももらっている。 ▼ホールでの施設活用事業は令和5年度より月1回に固定することで有料利用による中止をなくしている。当館の方針とそのメリットを理解してもらえるように活用事業の考え方を今後も伝えて行きたい。 ▼図書室の評価は、今回も非常に高かった。一方で、札幌市の図書システムについての要望を書く人も多かった。 ▼「蔵書が古い」「本の数が少ない」という声は今年も上がっている。問題解決に向けて、比較的新しい寄贈本を積極的に受け入れ、古い本を廃棄することで、令和7年度は1,700冊を超える蔵書の新陳代謝が行われた。
	貸室	図書室	計	比率(%)																																																																														
とても良い	181	182	363	64.2																																																																														
良い	136	29	165	29.2																																																																														
普通	30	2	32	5.7																																																																														
悪い	0	0	0	0.0																																																																														
とても悪い	1	0	1	0.2																																																																														
無回答	4	0	4	0.7																																																																														
計	352	213	565	100.0																																																																														
	貸室	図書室	計	比率(%)																																																																														
ぜひ利用したい	232	172	404	72.4																																																																														
利用したい	97	38	135	23.9																																																																														
どちらかと言えば、利用したい	15	3	18	3.2																																																																														
どちらでもない	4	0	4	0.7																																																																														
利用したくない	1	0	1	0.2																																																																														
無回答	3	0	3	0.5																																																																														
計	352	213	565	100.0																																																																														
利用者からの意見・要望とその対応	▼アンケートの自由記載欄から（要約・抜粋） 【貸室利用・フリースペース等】 ・室内環境がとてもいい。空調、清潔。 ・防音室が音楽サークルにはもってこい。 ・アトリウムの椅子を増やして欲しい。 ・こういう場所があって助かっている。 ・月一の「うたの会」、回数を増やして欲しい。 ・子どもが遊べる場所が少ないので協力を。 ・職員の対応は感じが良く親切。 ・冬季、館内が寒いので暖房を。 ・卓球の回数を多く希望。 ・週一、同じ曜日を使いたい。抽選以外の方法の検討を。 ・料金がもう少し下がると嬉しいのですが。 【図書室】 ・いつもながら全てが素晴らしく満足しています。 ・室内が清潔感があり快適に利用しています。 ・9時前、17時以降も開いている日があると嬉しい。 ・室内の展示に工夫が見られ気持ちよく利用している。 ・感謝。親子向けの活動にも積極的で敬服しています。 ・新聞・雑誌の「指なめ禁止」徹底を。 ・エルプラザの「情報センター」にも返却ポストを設置して。 ・徒歩圏なのでよく利用。無くならないで欲しい。 ・Web予約の「受取館」を固定出来るようにして欲しい。																																																																																	

4 収支状況

▽ 収支

(千円)

項目	R7年度計画	R7年度決算	差 (決算-計画)
収入	37,662	40,210	2,548
指定管理業務収入	37,662	40,210	2,548
指定管理費	27,742	27,742	0
利用料金	9,500	10,904	1,404
その他	420	1,564	1,144
自主事業収入	0	0	0
支出	37,662	40,210	2,548
指定管理業務支出	37,662	40,210	2,548
自主事業支出	0	0	0
収入-支出	0	0	0
自主事業による利益還元			0
法人税等			0
純利益	0	0	0

【参考】

R7年度決算

内容

指定管理業務による利益還元	498	下記のとおり
---------------	-----	--------

▽ 説明

・「読み聞かせ」と「花壇整備」のボランティアサークルへの助成金

・1階多目的トイレ蛇口修理・駐車場排水トラフ補修工事

・ボイラー部品交換・不凍液タンク清掃等

・1階男子トイレウォシュレット交換・1階女子トイレ排水管修理

・2階廊下ドアクローザー修理・1階男子トイレ蛇口修理

・大型扇風機2台購入・全自動洗濯機購入

▼その他の収入には講座収入・コピーサービス・古紙回収の他、札幌市からの光熱費高騰による指定管理費見直し分の補填と、賃金スライド加算費用を内訳に入れている。

▼利用料金収入は過去最高。光熱費の高騰については札幌市からの補填により赤字決算には至らずに済んだ。

▼法人税は、支出項目「法人経費」に含んでいる。

▼開館20年目に当たる令和7年度は、多くの設備・備品が壊れ、修理や更新に追われる1年だった。次年度以降もこの傾向が続くと思われるが、今後も西区担当課に相談しながらできる限り対応していきたい。

A

B

C

D

過去最高の利用料金収入を達成し、計画よりも収入が増加している。また、利益還元を実施している。

<確認項目> ※評価項目ではありません。			
▽ 安定経営能力の維持	▼ワークスコープは全国組織であり、単体で赤字の出る事業所があれば全体でカバーする方式。この為組織全体の経営能力は安定している。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	▼地区センターの管理運営に関する各種条例については、常にそれらを遵守する姿勢で臨んでいる。 ▼「暴力団排除推進条例」については、聞きなれない団体等の問い合わせや申し込みの際に、詳しく利用内容を聞いたりインターネット検索をするなど、出来る限りの情報収集に努め、暴力団の排除に積極的に取り組む。条例にのっとり「暴力団の排除にかかる照会事務マニュアル」に従って必要な対応を行い、札幌市に相談・指示に従う事とする。 ▼札幌市に対し個人情報取扱状況報告書を毎月提出。メールの誤送信や詐欺メールへの対応、USBを使用しないなど、知識のなさやうっかりで危険を招かないよう、札幌市からの研修資料を冊子にしていづでも確認できるようにしている。また、利用団体登録書等、個人情報の書かれたファイルは夜勤スタッフが閉館時に事務室内のロッカーに収納し施錠している。	適	不適

III 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
▼更新3年目の令和7年度は、講座・交流事業・施設活用事業ともに安定した運営を行うことができた。利用料収入が好調に推移する一方、開館20年目を迎えて設備・備品の修理・更新に追われる1年でもあった。施設運営全般に於ては、来館者の参加や地域住民との協力を念頭に置いて企画・運営できたと思う。 ▼利用料収入＝令和7年度も過去最高の利用料収入を上げることができた。年度途中の7月に行われた貸室使用料改定が、収入にどのような影響を与えるのか不安もあったが、結果的には収入増につながった。前年度まで増え続けていた個人・家族・仲間など小さい単位でのホール時間貸しは7月以降激減し、毎月の利用率は前年度を下回っているが、料金値上げがあっても正規枠でホールを利用する団体に救われる形で収入増となった。 ▼講座・交流事業＝他団体との共催で行う講座も含め、子ども向けの講座が多かったのが令和7年度の特徴と言える。結果的に、子どもたちに多様な経験をさせたいと願う熱心な親世代のニーズに応えた形となった。交流事業では定番のイベントの他に、初めての試みとして「SE-NOコンサート」や野球応援企画のトークイベントを実施。この経験は私たちにとって、新しいことに挑戦する自信になった。 ▼施設活用事業＝高齢者に向けた「リフレッシュ運動教室」、親子連れに向けた「おはなし会」、ホールを使ったスポーツの施設活用事業等、多様な世代に向けた事業を心がけて行っている。その他に例年同様小学生の施設見学やアトリウムでのパネル展示・連合町内会への協力など、事前に打合せをしながら学習や活動の場を提供してきた。 ▼福祉施策への取組み＝週に1度清掃作業に来ている8年目の有償ボランティアAさんには、ここ数年屋上の除雪でもお世話になり大変助かっている。年2回のフェスタの際には複数の福祉作業所に参加をお願いして、製品販売でイベントを盛り上げてもらっている。 ▼他団体との協力＝二つの連合町内会、地域の小中学校、福祉のまち推進センター、八軒地区の医療法人、介護予防センター八軒、西区第1包括支援センター、西区第1エリア生活支援推進員（第2層生活支援コーディネーター）など協力体制が確立している。R5年度から始まった「はちけん・ティッシュ協力隊!!」は、R7年度中に3回集まったティッシュやマスク等の支援品をNPO法人イナंकフルに届けることができた。	▼R8年度を次の更新の準備の年と捉えて、経営・各事業を安定して運営することはもちろん、マンネリにならず新しい視点での企画を進めていけるよう、スタッフ間の積極的な話し合いと地域住民や利用者との日常的な会話を大切にしたい。設備や備品のメンテナンス等については、西区への相談を密にしていける所存。 ▼R8年度の利用料収入については、10,500千円の計画を立てた。近隣他施設の改修に伴う施設利用の増加も10月までなので、秋以降の収入は未知数ではあるが、スタッフ一同利用者対応のスキルを磨いて、利用率アップを目指したい。 ▼講座・交流事業共に、定番・新規にかかわらず、地域や利用者から求められる事にアンテナを張りながら企画していきたい。R7年度新しいジャンルに挑戦した体験を糧に、企画・運営を頑張りたい。 ▼R8年度も、既にそれぞれの事業が例年通りに進んでいる。定番の「おはなし会」「リフレッシュ運動教室」やいわゆる無料開放の他、小学生の施設見学も行われた。北大生の社会教育実習や、介護予防センターによるパネル展の相談もあり、施設の活用について柔軟に受け入れていきたい。 ▼有償ボランティアのAさんやイベントの物販でお世話になっている福祉作業所とは、お互いに助け合う立場でこれからもつながっていければと思っている。 ▼これまで培ってきた協力体制と、新しいつながりの両方を活かした活動を心がけたい。
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
各項目において要求水準を満たしている。貸室の利用率も高く収支状況も安定している。地域住民と協力しながら施設運営を行うことで、地域活動の活性化にも寄与している。人気が高い事業の継続のほか、新規の利用者獲得を目指した取り組みも期待している。	